

□ ANOTHER CONTENTS □

その他コンテンツ
のご紹介

WEBアニメ 『ここから始まる ゼロカーボン物語』

教育動画「ゼロカーボン北海道ラボ」の他に、下記アドレスのWEBページにて
「ここから始まるゼロカーボン物語」WEBアニメを近日公開致します。
是非、生徒の皆さんにご紹介ください。

公開ページ <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/tot/182696.html>

エピソード **全5話**

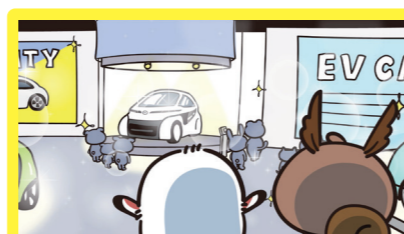
STORY

北海道を舞台に「エゾりくん」と
「シマエちゃん」が織りなす
脱炭素ライフを目指す物語。
ふたりの日常に潜む
小さなゼロカーボンアクションを
コミカルな会話劇で紹介します！



第1話 アプリでCO₂排出量をチェック！ 脱炭素ライフスタイルへ！

北海道の危機を知り、未来を変えていくことを決意をしたふたり。そこで、家庭のCO₂排出量を計測できるアプリを使い、ライフスタイルを見直していく。



第2話 「車も移動も脱炭素へ！」

隣町のモビリティショーを訪れたふたりは未来が先取りされた空間に大喜び。そこでEV車を発見し、移動手段にもゼロカーボンアクションが潜んでいることを知る。



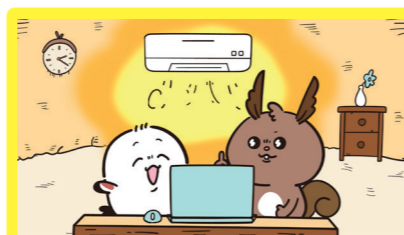
第3話 「地産地消で脱炭素へ！」

牡蠣をもらったシマエちゃんが、エゾりくんのお家に訪れた。牡蠣料理を作るのにふたりは買い出しに行こうとするが、そこでも脱炭素に繋がる取り組みがあることを知る。



第4話 「ファッションを楽しみながら脱炭素へ！」

何かに悩むエゾりくんフリーマーケットで出会うシマエちゃん。そこでファッションを通して脱炭素に繋がるアクションがあることをふたりで学んでいく。



第5話 「省エネ家電で脱炭素ライフスタイルへ！」

エゾりくんのお家でふたりは冬支度の準備をする。寒い北海道の冬を乗り切るために、生活に必要な家電を共に見直すことでゼロカーボンアクションを見つける。

製作：北海道 経済部ゼロカーボン推進局 (TEL:011-204-5190)

ZERO CARBON HOKKAIDO

北海道だからやる！できる！

ゼロカーボン北海道ラボ

ZERO CARBON HOKKAIDO laboratory

教育用動画

動画作成の目的

動画教材を利用した授業を通じて、2030年以降の北海道の軸を担う高校生を対象に、ゼロカーボン北海道に関する理解醸成と、具体的なゼロカーボンの取り組み事例紹介による行動変容を促していくことを目的としています。

主なターゲット層

ゼロカーボンについて初めて学習する高校生

進め方のイメージ

- (1) グループワークを行うため、適切な人数のグループを形成してください。
 - (2) 本動画を視聴してもらい、ゼロカーボン北海道のことや企業の取組事例について理解してもらいます。
 - (3) グループでアクションプランシートにCO₂削減のために規模を問わずできることと、自分自身やクラス単位ですぐできることをそれぞれ記載し、発表してもらいます。
- ※内容や進め方はそれぞれの先生の裁量で変更していただいて結構です。

映像概要

この映像は下記の4パート構成となっております。

映像公開ページ / 近日中に右記WEBページより公開致します。 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/tot/182696.html>

CHAPTER 1

ゼロカーボン北海道紹介

- 映像内容
- ①地球温暖化の現状
 - ②ゼロカーボン北海道とは
 - ③ゼロカーボン北海道の目標

CHAPTER 2

北海道電力の取組紹介

- 映像内容
- ①北海道電力の紹介
 - ②北海道電力の取組紹介
 - ③ゼロカーボン北海道の目標

CHAPTER 3

石屋製菓の取組紹介

- 映像内容
- ①石屋製菓の紹介
 - ②石屋製菓の取組 01
 - ③石屋製菓の取組 02

CHAPTER 4

私達にできる身近な取組紹介

- 映像内容
- ①節電に関する取組紹介
 - ②ファッションに関する取組紹介
 - ③フードロスに関する取組紹介

CHAPTER 1 ゼロカーボン北海道とは



詳しくは左記のゼロカーボン北海道リーフレットをご参照ください



ZERO CARBON HOKKAIDO

趣旨

地球温暖化による世界的なカーボンニュートラルへの動きが活発になるなか、2020年3月、北海道は国に先駆けて2050年までに温室効果ガス実質排出量のゼロを目指すことを宣言しました。それがゼロカーボン北海道。

ゼロカーボン北海道が掲げた目標

北海道全体の温室効果ガス排出量を

2030年度までに2013年度比 **-48%** (3,581万t-CO₂の削減!)

2050年までに **実質ゼロ!**

カーボンニュートラルとは

人間活動によって排出される温室効果ガスの排出量と森林等による吸収量を均衡させて、実質ゼロとなることを言います。



CHAPTER 3 石屋製菓の取組で学んでいただくポイント

石屋製菓の2パート

- 1 白い恋人の包装素材をエコ素材に変え脱炭素に貢献
- 2 施設運営に使用する電力を実質CO₂排出量ゼロの電気に転換

1 包装素材をエコ素材に変え脱炭素に

- POINT 01 個包装フィルムを一部メカニカルリサイクルPETを使用
- POINT 02 トレーはバイオマス素材で実質CO₂排出量ゼロなど、工夫で脱炭素に繋げている



個包装フィルムの素材の仕組みは映像の11:00あたりで説明しています

2 実質CO₂排出量ゼロの電気に転換

- POINT 01 再生可能エネルギー由来の電力の購入やCO₂を排出しない価値「非化石証書」を購入することで、実質供給されている電力をCO₂排出量実質ゼロの電気に転換



供給電力の転換の仕組みは映像の13:11あたりで説明しています

CHAPTER 2 北海道電力の取組で学んでいただくポイント

北海道電力の2パート

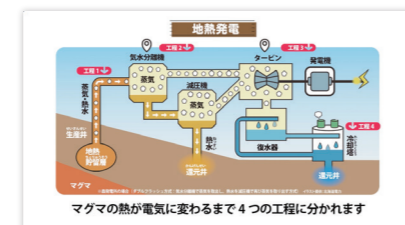
- 1 北海道の強みを活かした再生可能エネルギーの拡大
- 2 発電の仕組みを通して再生可能エネルギーに興味を持ってもらう

1 再生可能エネルギーの拡大

- POINT 01 再生可能エネルギーは発電時にCO₂が排出されない
- POINT 02 北海道は日本で1番再生可能エネルギー生産に向いている
- POINT 03 2022年では北海道の年間発電量のうち約3割が再生可能エネルギー
- POINT 04 北海道電力はクリーンな再生可能エネルギー導入・拡大を進めている

2 再生可能エネルギーの発電の仕組み

- POINT 01 風力・水力・太陽光・バイオマス・地熱発電それぞれの発電の仕組み
- POINT 02 森地熱発電所の発電の仕組みを紹介する



森地熱発電所の発電の仕組みは映像の6:55あたりで説明しています

CHAPTER 4 身近な取組で学んでいただくポイント

身近な取組の3パート

- 1 身近な取組 / 節電を通して脱炭素に貢献
- 2 身近な取組 / ファッションを通して脱炭素に貢献
- 3 身近な取組 / フードロスを気をつけ脱炭素に貢献

1 節電を通じた脱炭素

- POINT 01 使用していない家電は電源を消す。
- POINT 02 省エネ家電に買い換える
- POINT 03 石油ストーブを寒冷地用エアコンに換える

2 ファッションを通じた脱炭素

- POINT 01 今持っている1着を1年長く着ると日本全体で年間4万t以上の廃棄量が削減でき脱炭素に繋がる
- POINT 02 着なくなった服はフリーマーケットやアプリ、店頭回収などでリユース・リサイクルすることが重要

3 フードロスを気をつけ脱炭素

- POINT 01 日本全体でフードロスが1日約124g、年間45kgにもものぼる
- POINT 02 外食の際には食べ切れる量を考え注文する
- POINT 03 食材の無駄が出ないように買物まえに冷蔵庫にある食材をチェックする